

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	N.E	学部・学科	国際教養学部国際教養学科
学年	3年	派遣国	ハンガリー
派遣大学	エトヴェシュ・ローランド大学		
期間	2022年 9月 2日～ 2023年 6月 30日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / <u>学外の学生寮</u> / アパート / その他 ( )				
部屋	個室 / <u>2人部屋</u> / 3人部屋 / その他 ( )				
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○				
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所 ◎
	キッチン	◎	冷暖房	○(ヒーターのみ)	冷蔵庫 ○
滞在費	約 ( 26000~30000) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃				
移動	(トラムとバス) で、約 ( 45) 分 *大学までの所要時間と移動方法				

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	15000 円	外食費込み
学用品購入費	0 円	ほとんど購入することがなかったです
交通費	1500 円	ブダペスト市内の公共交通機関乗り放題の学生定期
交際費	100,000 円	
その他	4000 円	趣味の習い事など

合計

120,000 円

\*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

治安は基本的に良いです。  
 滞在中に危険に感じたことやスリに遭うなどの被害も受けませんでした。その一方で置き引きなどの一般的な盗難は起きるので(実際に到着して3日後に置き引きに遭いました)常に警戒心は持つておくべきだと思います。  
 また、道端にホームレスの方が多くいるので物乞いなどには注意する必要があります。  
 危険な地域は Blaha 駅周辺の元ユダヤ人地区と呼ばれる場所です。他の場所と比べて治安が悪いと言われていました。学生はその地域を避けてアパートを借りている人が多かったです。

### 3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ( )		
加入期間	( 10 ) ヶ月間	保険料	( 22046 ) 円

現地の国/大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	( ) ヶ月間	保険料	( ) 円

### 4. 滞在都市についての情報

滞在都市/町 ( **ブダペスト** )  
 ハンガリーの首都で、ドナウ川を挟んで、ブダ側とペスト側の二つのエリアに分かれています。ブダ側は、ブダ城やフィッシャーマンなどの観光スポットに加え、地元の人たちが住む住宅街も多くあります。ペスト側に比べて土地が広く、高級住宅街が並んでいるそうです。留学先であった ELTE 大学社会科学部のキャンパスとその寮もブダ側に位置しています。自然豊かな一面と歴史的な建造物が並ぶ中世ヨーロッパの雰囲気をも併せ持った地域です。  
 ペスト側は観光スポットが多く、毎日観光客で賑わっている地域です。ランドマークである国会議事堂や大聖堂、ファッションストリートなど名所がたくさんあり、何度見ても飽きない美しさが備わるエリアです。ELTE 大学の本キャンパスやオフィスも所在しています。  
 公共交通機関はバス、トラムと呼ばれる路面電車、地下鉄が主流です。首都ということもあって、たくさんの路線が張り巡らされているので移動手段に困ることはありません。夜遅い時間でも深夜バスが走行しているので、終電を逃してしまうといったことも起きませんでした。これらの交通機関は全て国の管理下にあるので、一つのチケットで市内の交通機関を全て利用することができます。その価格もお手頃です。(1ヶ月の学生パスで 1500 円ほど)  
 また、病院や美容院、スーパーマーケットなどはたくさんあるので不自由することはありません。ハンガリー人はアジア料理が好きなので、アジアマーケットやレストランも多数あります。



## 【学業編】

### 1. 大学情報

大学	エトヴェシュ・ローランド大学	所在地	ブダペスト (H-1053 Budapest, Egyetem square 1-3)
最寄空港	リスト・フェレンツ空港	空港からの距離	約1時間 (20km)
空港⇄大学	(100E バス+4・6 番トラム/ 200E バス+M3 地下鉄+4・6 番トラム) *移動手段		
学生数	35870 人	留学生数	4650 人
学部	Faculty of economics Faculty of education and psychology Faculty of humanities Faculty of informatics Faculty of law Faculty of primary and pre-school education Faculty of science Faculty of social science Faculty of special needs education *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	Social Science/ International relations *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

## 2. 週間スケジュール

① (            9)月～(            12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	授業の準備、予習、復習	授業1コマ (8:00~10:00) 図書館で勉強 昼食	授業1コマ (8:00~10:00) 図書館で勉強	授業1コマ (8:00~10:00)	授業の復習 自由時間
午後	授業の準備、予習、復習 自由時間	授業1コマ (12:00~14:00) 図書館で勉強 帰宅	図書館で勉強 自由時間	授業2コマ (12:00~16:00) 帰宅	授業の復習 自由時間

② (            3)月～(            6)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	授業の準備 予習・復習	授業の準備	授業の準備	授業1コマ (8:30~10:00) 帰宅 ボランティア	授業の復習 自由時間
午後	授業の準備 予習・復習 自由時間	授業3コマ (12:00~18:00) 復習・予習 自由時間	授業2コマ (12:00~16:00) 復習・予習 自由時間	授業1コマ (16:00~18:00) 自由時間	授業の復習 自由時間

### 3. 履修内容

科目	移民学/Migration		
履修期間	秋学期	単位数	4 ECT
授業内容／形態	形態：Lecture（講義形式） 社会学、経済学、心理学など様々な学問的側面から移民・移住について学ぶ。事前に授業スライドと参考資料が与えられているが、必ず目を通す必要はない。評価は最終テストのみ。テスト内容は多選択式の問題と筆記問題形式で、授業の内容と提示された参考資料から出題された。		
成績	3 (Satisfactory)		
YCU 振替予定	科目	国際移住論 B	
	単位数	2	
	担当教員	坪谷美欧子先生	

科目	Academic Communication/ アカデミック・コミュニケーション		
履修期間	秋学期	単位数	4
授業内容／形態	形式：Practice (ゼミ形式) 少人数で行われるクラスで、主にアカデミック・ライティングの方法を学ぶ。Lecture time と presentation time のクラスが交互に行われる。Lecture time では先生から英語で論文を書く上でのポイントを学び、それを踏まえて writing task を行う。presentation time では、自分の書いた内容を発表しながら先生に添削をしていただく。成績は普段の課題提出とプレゼン、最終課題のグループ論文で評価される。		
成績	5 (excellent)		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Introduction to political science/政治科学入門		
履修期間	秋学期	単位数	3
授業内容／形態	形態：Lecture(講義形式) 政治科学の基礎を学ぶ。資本主義や社会主義など歴史的に存在している理論的な視点や政治とは何かなど、政治を考える上で必要な基礎知識を学ぶ。授業前に教科書を各自で読み、その内容に沿って授業が行われる。成績は最終試験（オンライン試験）のみで評価される。試験内容は選択問題と筆記問題の複合型。		

成績	4 (Good)	
YCU 振替予定	科目	
	単位数	
	担当教員	

科目	Foreign policy analysis/外交政策分析		
履修期間	秋学期	単位数	4
授業内容／形態	<p>形態：Lecture（講義形式）</p> <p>外交政策の基本知識と、外交政策分析の手法などを学ぶ。分析に必要な理論やさまざまな外交政策の実例を勉強する。事前に提示されている文献を読んでおき、その内容に沿って授業が展開されていく。成績は最終試験（オンライン試験）のみで評価される。試験内容は選択問題と筆記問題の複合型。他の科目よりも試験時間が長く、問題数も多い。</p>		
成績	2(Pass)		
YCU 振替予定	科目	留学科目	
	単位数		
	担当教員		

科目	National, ethnic and religious minorities in Eastern Europe/東欧の国家、民族、宗教的マイノリティ		
履修期間	秋学期	単位数	4
授業内容／形態	<p>形態：Practice（ゼミ形式）</p> <p>少人数で行われるクラス。修士課程の学生も取ることができる授業で、普通のセミナーよりも少しレベルが高いように感じられた。</p> <p>主に東ヨーロッパのマイノリティについて扱う。事前に読んでくる文献(2~3つ)に沿って先生が説明を加え、新たな問いを提示されるので、それに対して学生間でディスカッションを行う。文献は事前に読むだけでなく、それに対して（または関連した）問いを考え、各資料 A4 半分のエッセイを毎授業書いて提出する。成績は毎授業の提出課題と授業への参加度、授業後半で行われるグループプレゼンの総合で評価される。</p>		
成績	5 (Excellent)		
YCU 振替予定	科目	ヨーロッパ史	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Introduction to minority policy/マイノリティ政策入門		
履修期間	秋学期	単位数	4
授業内容／形態	<p>形態：Lecture(講義形式)</p> <p>この授業も上記のクラスと同様に、修士課程の学生も取ることができる授業で基礎知識がないと学びが深まらない授業形態だった。</p> <p>学生全員に日程が割り振られ順番にプレゼンをしていく、共同学習の形式で授業が進んでいった。プレゼン後は先生のコメント補足、学生同士のディスカッションを行う。成績は個人かペアで行われるプレゼンと最終課題のレポートで評価される。</p>		
成績	5 (Excellent)		
YCU 振替予定	科目	多文化社会論	
	単位数	2	
	担当教員	滝田祥子先生	

科目	Globalization information society /グローバル化と情報社会		
履修期間	春学期	単位数	4
授業内容／形態	<p>形態：Lecture (講義形式)</p> <p>自由主義やガバナンス、経済など様々な視点からグローバル化とは何かについて学ぶ。グローバル化の基礎的な部分を学ぶため、多くの学者の理論が取り上げられ、授業が構成されていた。成績は最終試験で評価される。試験内容は、出題された問いに対して自分の意見を筆記形式で回答する。授業で取り上げられた学者の文献をあらかじめ読んでおき、それらを参考、引用しながら、制限時間内に自分の意見をまとめて提出した。</p>		
成績	5 (Excellent)		
YCU 振替予定	科目	Global issues	
	単位数	2	
	担当教員	ネルム・ポール先生	

科目	African and Middle East Studies/ アフリカ・中東学 (エネルギー政策)		
履修期間	春学期	単位数	5
授業内容／形態	<p>形態：Practice (ゼミ形式)</p> <p>学期前半で民主主義について詳しく学び、後半ではアフリカや中東社会でのエネルギー政策について実例を取り上げながら学ぶ。事前に提示される資料と論文を授業前までに読み、学生は疑問に思ったことを持ち寄る。その問いを中心に先生と学生が一緒になってディスカッションを行</p>		

	う形で授業が進行していく。成績は学期末のエッセイ課題と日頃の出席、授業への参加度などで評価される。	
成績	5 (Excellent)	
YCU 振替予定	科目	留学科目
	単位数	
	担当教員	

科目	Contemporary Challenges for the Society/ 社会の現代的課題		
履修期間	春学期	単位数	5
授業内容／形態	形態：Lecture（講義形式） 現代社会における課題を人権や戦争、動物、自由主義など、さまざまトピックから考える授業。先生が生徒に質問を投げかけて、そこで出た答えを広げていく形で授業が展開していく。特に事前課題はなく、授業後半で行う予定のグループプレゼンで成績が出される。		
成績	5 (Excellent)		
YCU 振替予定	科目	特講（Global Society and issues）	
	単位数	2	
	担当教員	嶋内佐絵先生	

科目	Governance of Sustainable Consumption and Production/持続可能な生産と消費のガバナンス		
履修期間	春学期	単位数	5
授業内容／形態	形態：Practice（ゼミ形式） 持続可能な生産と消費とは何かについて考える授業。毎週出される課題を行いながら授業前に前提知識として学び、それに関連する先生からの問いについてディスカッションを行う。学期後半では co-teaching と呼ばれる授業形態となり、学生がスライドなどを準備して授業を行なった。テーマを事前に選んで、授業内容を構成しみんなに向けて授業をしたり議論をしたりした。 成績は学期中に 2 回行われる筆記テストと毎週の課題、授業の出席・参加度合いから評価された。		
成績	5 (Excellent)		
YCU 振替予定	科目	特講（Sustainable Urban Development）	

	単位数	2
	担当教員	大西暁生先生

科目	General Hungarian Language A1.1		
履修期間	春学期	単位数	3
授業内容／形態	形態：Practice（ゼミ形式） ハンガリー語の初級クラス。留学生に向けて、ハンガリー人の先生が開講する少人数クラス。基本的な単語や文法を学ぶ。課題などは不定期に出る。成績はオンラインの最終試験と、授業内で出る課題、授業への出席から評価される。		
成績	5 (Excellent)		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Going Native		
履修期間	春学期	単位数	2
授業内容／形態	形態：Practice（ゼミ形式） 英語の授業。英語によるコミュニケーションや文法、ボキャブラリーなど使える英語を鍛える授業。1回1時間の授業が週に2回ある。課題は不定期に出される。成績は授業の出席と課題、授業内で行われたオリジナルプレゼンから評価される。		
成績	5 (Excellent)		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

イニシャル	N.E	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学年	3年	派遣国	ハンガリー
派遣大学	エトヴェシュ・ローランド大学		
期間	2022年 9月 2日～ 2023年 6月 30日		
プログラム	交換留学プログラム		

< 留学先大学での履修内容 >

科目	移民学/Migration
講義内容	社会学、経済学、心理学など様々な学問的側面から移民・移住について学ぶ。事前に授業スライドと参考資料が与えられているが、必ず目を通す必要はない。評価は最終テストのみ。テスト内容は多選択式の問題と筆記問題形式で、授業の内容と提示された参考資料から出題された。
科目	Academic Communication/ アカデミック・コミュニケーション
講義内容	少人数で行われるクラスで、主にアカデミック・ライティングの方法を学ぶ。Lecture time と presentation time のクラスが交互に行われる。Lecture time では先生から英語で論文を書く上でのポイントを学び、それを踏まえて writing task を行う。presentation time では、自分の書いた内容を発表しながら先生に添削をしていただく。成績は普段の課題提出とプレゼン、最終課題のグループ論文で評価される。
科目	Introduction to political science/政治科学入門
講義内容	政治科学の基礎を学ぶ。資本主義や社会主義など歴史的に存在している理論的な視点や政治とは何かなど、政治を考える上で必要な基礎知識を学ぶ。授業前に教科書を各自で読み、その内容に沿って授業が行われる。成績は最終試験(オンライン試験)のみで評価される。試験内容は選択問題と筆記問題の複合型。
科目	Foreign policy analysis/外交政策分析
講義内容	外交政策の基本知識と、外交政策分析の手法などを学ぶ。分析に必要な理論やさまざまな外交政策の実例を勉強する。事前に提示されている文献を読んでおき、その内容に沿って授業が展開されていく。成績は最終試験(オンライン試験)のみで評価される。試験内容は選択問題と筆記問題の複合型。他の科目よりも試験時間が長く、問題数も多い。
科目	National, ethnic and religious minorities in Eastern Europe/東欧の国家、民族、宗教的マイノリティ

<b>講義内容</b>	<p>少人数で行われるクラス。修士課程の学生も取ることができる授業で、普通のセミナーよりも少しレベルが高いように感じられた。</p> <p>主に東ヨーロッパのマイノリティについて扱う。事前に読んでくる文献(2~3つ)に沿って先生が説明を加え、新たな問いを提示されるので、それに対して学生間でディスカッションを行う。文献は事前に読むだけでなく、それに対して(または関連した)問いを考え、各資料 A4 半分のタスクを毎授業書いて提出する。成績は毎授業の提出課題と授業への参加度、授業後半で行われるグループプレゼンの総合で評価される。</p>
<b>科目</b>	Introduction to minority policy/マイノリティ政策入門
<b>講義内容</b>	<p>この授業も上記のクラスと同様に、修士課程の学生も取ることができる授業で基礎知識がないと学びが深まらない授業形態だった。</p> <p>学生全員に日程が割り振られ順番にプレゼンをしていく、共同学習の形式で授業が進んでいった。プレゼン後は先生のコメント補足、学生同士のディスカッションを行う。成績は個人かペアで行われるプレゼンと最終課題のレポートで評価される。</p>
<b>科目</b>	Globalization information society /グローバル化と情報社会
<b>講義内容</b>	<p>自由主義やガバナンス、経済など様々な視点からグローバル化とは何かについて学ぶ。グローバル化の基礎的な部分を学ぶため、多くの学者の理論が取り上げられ、授業が構成されていた。成績は最終試験で評価される。試験内容は、出題された問いに対して自分の意見を筆記形式で回答する。授業で取り上げられた学者の文献をあらかじめ読んでおき、それらを参考、引用しながら、制限時間内に自分の意見をまとめて提出した。</p>
<b>科目</b>	African and Middle East Studies/ アフリカ・中東学 (エネルギー政策)
<b>講義内容</b>	<p>学期前半で民主主義について詳しく学び、後半ではアフリカや中東社会でのエネルギー政策について実例を取り上げながら学ぶ。事前に提示される資料と論文を授業前までに読み、学生は疑問に思ったことを持ち寄る。その問いを中心に先生と学生が一緒になってディスカッションを行なって授業が進行していく。成績は学期末のエッセイ課題と日頃の出席、授業への参加度などで評価される。</p>
<b>科目</b>	Contemporary Challenges for the Society/ 社会の現代的課題
<b>講義内容</b>	<p>現代社会における課題を人権や戦争、動物、自由主義など、さまざまトピックから考える授業。先生が生徒に質問を投げかけて、そこで出た答えを広げていく形で授業が展開していく。特に事前課題はなく、授業後半で行う予定のグループプレゼンで成績が出される。</p>
<b>科目</b>	Governance of Sustainable Consumption and Production/持続可能な生産と消費のガバナンス

<b>講義内容</b>	<p>持続可能な生産と消費とは何かについて考える授業。毎週出される課題を行いながら授業前に前提知識として学び、それに関連する先生からの問いについてディスカッションを行う。学期後半では co-teaching と呼ばれる授業形態となり、学生がスライドなどを準備して授業を行なった。テーマを事前に選んで、授業内容を構成しみんなに向けて授業をしたり議論をしたりした。</p> <p>成績は学期中に 2 回行われる筆記テストと毎週の課題、授業の出席・参加度合いから評価された。</p>
<b>科目</b>	General Hungarian Language A1.1
<b>講義内容</b>	<p>ハンガリー語の初級クラス。留学生に向けて、ハンガリー人の先生が開講する少人数クラス。基本的な単語や文法を学ぶ。課題などは不定期に出る。成績はオンラインの最終試験と、授業内に出る課題、授業への出席から評価される。</p>
<b>科目</b>	Going Native
<b>講義内容</b>	<p>英語の授業。英語によるコミュニケーションや文法、ボキャブラリーなど使える英語を鍛える授業。1 回 1 時間の授業が週に 2 回ある。課題は不定期に出される。成績は授業の出席と課題、授業内で行われたオリジナルプレゼンから評価される。</p>

## <総括>

(1) 全体的な感想 \*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800字以上)

私にとって、今回の留学が初めてで、初海外渡航でもありました。その状況の中で英語圏でもない、しかも日本ではあまり知られていないハンガリーという国に行くことになった時、最初は不安ばかりでした。しかし、今こうして留学を終えて振り返ってみると、とても充実した、自分の人生に確実に影響を与えた10ヶ月だったと感じています。ハンガリーに行ったからこそできなかった経験ばかりで、今ではこの国を、ELTE大学を選んだ自分を褒めてあげたいです。

私が留学生生活を通して学んだことは大きく分けて二つあります。

一つ目は、行動を通して経験することの大切さです。私はこの留学期間、「やらない後悔よりも、やる後悔」をモットーにして、とにかく気になったことには積極的に飛び込んでいこうと意識していました。講演会に参加したり、ハンガリーを飛び出してヨーロッパ各地に足を運んだり、学内外のコミュニティに自分から飛び込んで、とにかく話して、友達になって、その時にしか経験できないことを全力で楽しみました。今までインターネットや本を介してしか知ることのできなかった世界を自分自身で体感できる感動や、本物から学び感じることは、自分の中の概念が崩される感覚でした。どの体験も新鮮で、全て無駄では無かったと言えます。たとえ悲惨な経験でも、それは自分の人生を作る要素となり、自分を強くしてくれると考えれば、体験することの価値はあるし、それを今後の人生で大切にしていかなければならないと強く思いました。

二つ目は、人との出会いの素晴らしさです。留学の10ヶ月間、たくさんの人に出会いました。ハンガリー国内で出会うのはもちろん、知り合いから繋がったコミュニティで出会う人や、旅先で出会った人もいました。その中でも、留学期間中に会った日本人の方から受ける影響は、自分の中でとても大きなものでした。ハンガリーで活躍する日本人の多くが、良い意味で「普通ではない」人たちばかりでした。ハンガリーに滞在することになったきっかけはさまざまですが、全員に共通して言えることは常にワクワクすることを追い求め、新しいことに挑戦したり、旅に出かけたり、その人がその時にしかできないことを体現している人たちということです。留学期間中、将来について悶々と考える時期が何度かありましたが、そんな素敵な日本人たちとの出会いのおかげで、自分の中にある選択肢が格段に増え、失敗を恐れずに自分が本当にやりたいことをやろうと考えられるようになりました。これは将来についてだけにとどまらず、日常生活にも影響を与えたと感じています。

その一方で、外国籍のお友達との出会いは、自分に新たな世界を見せてくれました。長い時間一緒に過ごしたルームメイトやドームメイト、授業のクラスメイトなど日本国籍ではない友達からは世界の文化や習慣、それを理解し互いに尊重することの大切さを学ぶことができます。友達という関係だからこそ知れるその国のディープな側面や、ローカルな情報を聞くことができるととても興味深く感じました。新たな人との出会いは人生を大きく変化させるきっかけになると思いました。

(2) 今後の展望 \*この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

留学中に自分のやりたいことが明確になりつつあるものの、まだ具体的な道は見つかっていないので、留学期間中の経験を糧に自分と向き合い、今後の進路を考えていこうと思います。現時点で、人と関わることや自分の行動や言動によって相手が喜んでくれること、英語を使って世界の人とコミュニケーションを取ることにやりがいとワクワクを感じたので、それらの長所が活かせる場で活躍したいと考えています。

語学力に関しては、渡航前よりも英語を話すこと、聞くこと、読むことに抵抗がなくなってきたので、さらに英語力を向上させられるように日々の勉強を続けていきたいです。資格試験も受験して、目に見える形でどれだけ英語力が向上したのかも確かめようと思います。

学習面に関しては、渡航前よりも自分の興味分野を狭めることができたので、後期からの授業でより自分の知識を深められるように、ELTE での学びを繋げていけるようにします。

(3) 後輩へのアドバイス \*留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

留学は自分の人生に大きな影響を与える貴重な時間になると思います。もちろん楽しいことだけでなく、辛いこともあるけれど、その記憶を上書きできるほど自分に影響を与える素晴らしい経験がたくさんあります。全て自分の糧だと思って吸収できれば、何も怖くありません。留学に行くか迷っている方がいれば、まずは行ってみようという気持ちを持つことが大切です！行ってみないとわからない！！

ハンガリーという国を選ぶことに対して不安があると思っている方、大丈夫です。想像の何百倍も素敵な国であることを私が保証します。英語圏ではないので、英語を伸ばしたいという方には不向きかもしれませんが、でも大学の授業や、外国籍の方との会話はもちろん英語なので全く英語を使わないということはないですし、むしろ第二外国語として英語を使っている人たちがたくさんいるので、英語を使うモチベーションが高い人は多いと思います。もちろんハンガリー語を学ぶ機会もあるので、+αで言語を学びたい人にもおすすめです。また、ハンガリーは東ヨーロッパの中心に位置している EU 加盟国なので、他のヨーロッパの国にも簡単に足を運ぶことができます。ハンガリーに行けば、もれなくヨーロッパ全体も楽しむことができちゃいます。知られていないだけで、知ったらどっぷりとその魅力に浸かってしまうハンガリー。本当におすすめです！！

ELTE 大学は国内で 2 番目に大きな国立大学で、授業の内容もハイレベルと言われてます。学部生だけでなく修士の方とも学ぶ機会あり、多様な知識を兼ね揃えた人たちとディスカッションすることができます。とても興味深かったです。全体的に見ても留学生は多いので、いろいろな国籍の学生と仲良くなれますよ！！

未知の国すぎて不安もあるかと思いますが、そんな心配はありません！！自信を持って渡航してくださいね。ハンガリーに渡航するみなさんの留学生活が有意義なものになるように心から祈っています。頑張ってください◎